

せいりょう

VOL.60

2019.新春



新年のご挨拶



理事長・院長
成尾 政一郎

新年あけましておめでとうございます。

今年度4月より4人の専門医が加わり、看護部も新体制となりました。

リハビリや外来・入院診療など病院全体の体制も整え、診療体制を強化し、地域の方や患者様のニーズに応えられるよう取り組んで参りました。

クレドを掲げて1年が経ち、「信条」「信念」「約束」を基に職員が自ら考え行動しています。また指針を示し、モチベーションを高く持ち日々の診療にあたっています。健康教室、出張講座や地域イベントを通して地域住民の皆様のお役に立てればとの思いで職員一同、活動して参りました。

この一年を振り返ると、皆様のご協力・お力添えで、当院にとって充実した一年だったと思います。

2019年は病院機能評価受審にチャレンジし、医療の質、経営の質、教育の質をさらに向上させ、ひいては病院の質を高めていく一年にしたいと思います。

昨年秋に開催した市民公開講座では参加者の方々の「元気で過ごしたい」という思いを身近に感じることが

できました。高齢者の多くが腰や膝の痛みを抱えています。体への負担が少ない手術を行うことで高齢者のQOL（生活の質）の向上、そして健康寿命を延ばすお手伝いをするのが私達の使命と考えています。

引き続き体制の充実を図り、他の医療機関との連携を強化し、また院内の部門間で連携を密に、今後も整形外科専門病院としてさらに質の高い医療を提供し、地域に貢献して参ります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお申し上げますと共に、皆様にとって良い年となりますよう祈念いたします。



診療体制を強化した医局チーム

理 念

私たちは患者様の立場に立った医療を提供します。

基本方針

- 脊椎外科・関節外科を主体とした整形外科専門病院として信頼できる医療を提供します。
- 地域社会に開かれた病院をめざします。
- 患者様の権利を尊重した医療をめざします。
- 誠実さと思いやりの心を持った診療をします。
- 専門知識、技術の研鑽と共に人格の形成に努めます。

CONTENTS

新年のご挨拶

- 慢性期看護発表
- ソフトボール大会
- 全日病発表
- AED研修
- 白山健康フェスタ
- ノロウイルス研修
- 健康になるお教室
- 連携病院の紹介（陣内病院さん）
- 栄養科健康教室
- 栄養科
- カラオケ大会
- 外来診療医一覧表
- マラソン大会



事務長 西村 俊也

あけましておめでとうございます。

2018年は、当院の診療体制のみならず、組織体制の強化を図った1年だったと思います。各医療機関様や患者様、地域の皆様のご指導、ご協力のおかげで、少しずつ前に進むことができた1年でした。ありがとうございました。

2019年は、2018年に強化を図った体制の内なる充実をはかり、次のステージの準備をする年と考えています。2019年に受審する病院機能評価は、内なる充実を図るきっかけになると考えております。それが次のステージの「病院の質」の向上につながると確信致しております。

それは2019年の干支につながります。2019年の干支は己亥（つちのとい）です。

己（つちのと）は、植物の成長に例えると、草木が成長を終えて姿が整った状態を表します。

亥（い）は、十二支の最後にあたり、同じく植物に例えると、草や花が枯れ落ちて、植物の生命が引き継がれて種の中にエネルギーがこもっている状態を表します。

この己、亥の状態を病院（当院）に当てはめると、己は、病院がそれまでの文化や風土、規律、秩序等を見直し、次の段階を目指す準備をする年。亥は、職員は知識を増やす、精神を育てる、病院は人材育成や設備投資、財務基盤を固める年、とすることができると思います。

つまり、外に向けての活動ではなく、内部の充実が心がけることが重要な年と考えています。また、現在が順調であっても、2019年はインプットをいつも以上に意識して、2020年の新たな展開につなげられるようにしていければと思っております。

皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

本年が皆様にとって益々幸せな1年になりますよう祈念申し上げます。



看護部長 辻口 志穂

あけましておめでとうございます。

昨年4月に就任し、これまで以上に責任の重さを感じながら、新年を迎えました。前任の看護部長が築いた「思いやりのある看護」を継承し、さらに「改革」をキーワードとし魅力ある職場づくりに取り組みたいと思います。



経営企画室 室長 豊田 博信

新たな年を迎えるにあたり謹んでお慶び申し上げます。

今年には年号も変更となる予定で色々な意味で新しい時代を迎えることとなります。当院でも昨年春より4名の医師が入职し気分も新たに診療に取り組んでおります。当部署も職員の裏方として機能できるように、引いては本年も皆様と共に歩んで行ける整形外科専門病院作りを目指して参りたいと存じます。



医療安全管理室 師長 山本 千美江

患者様が安心して安全な医療を受けていただける環境を整え、よりよい医療を提供できるように努力してまいります。



院内感染対策室 主任 田中 房子

昨年の4月より感染管理室配属となり、皆様からのご協力、ご指導ご鞭撻を頂きながら業務に携わることが出来ております。初心に帰り、振り返る中で、感謝の日々を過ごしている次第です。患者さん並びに、ご家族の皆様が安心して治療を受けられる、またスタッフが安心して業務が出来ますよう、努力して参りたいと思います。よろしくお祈り致します。



副看護部長・1病棟師長 寺本 美由紀

入院生活を心地よく安心して過ごせるよう、看て・考えて・寄り添う看護をして参ります。





薬剤科 科長 永田 貴文

薬が多すぎると思うことはありませんか？
今年も患者様の色んな悩みに寄り添っていきます。



臨床検査科 科長 小池 恵美子

今年の検査科テーマは「リボーン（生まれ変わり）」です。
新しい笑顔とオモテナシが‘あなた’を迎えます。



栄養科 科長 中野 俊一

3つの目標を達成すべく、今年も業務に邁進して参ります。

- ①食事の安心安全のもと満足向上
- ②食事の負担を減らす工夫で食事量UP
- ③職員のチームワークを磨きよりよい医療を



診療情報管理室 主任 池田 憲昭

良質で安全な医療を提供できるよう適切な診療情報の管理、運営を行ってまいります。



クラーク室 室長 木村 喜代

患者さん一人一人に寄り添い言葉や表現を汲み取れる、クラークでありたいと思っています。



2病棟 師長 由良 聖子

私達は、繋がりを大切にし、患者様の声に耳を傾け思いやりを持って、寄り添った看護を提供します。安心して自宅退院へ繋がられるように、患者様・ご家族様と一緒に考え、支援を行い笑顔で退院して頂けるよう努めてまいります。今年も宜しくお願い致します。



地域連携室室長・教育室師長 高瀬 悦子

一昨年から始まった「ありがとうの木」も、今年は多くの「ありがとう」の花を咲かせることができました。今年も壁一面に花を咲かせることができるよう、縁の下の力持ちとして精一杯頑張りたいと思います。



外来 師長 柴田 沢美

新年もスタッフ一同患者様に寄り添った医療が提供出来るように頑張っ参ります。ご相談等ございましたらお声かけ下さい。



手術部 師長 何川 栄作

私たち手術部は安心して手術を受けて頂くために『患者さまの立場に立った医療』を提供し続けて参ります。



放射線科 科長 田中 久博

「先義後利」の精神で日々の業務を行ってまいります。
今年も放射線科一同よろしくお願ひ致します。



リハビリテーション科 科長 大津 知昌

Re(再び) habili(適した) ation(にすること)。患者様が望む「～できるようになりたい。」のお手伝いが私共の役割です。安全で安心できる理学療法を提供していきます。



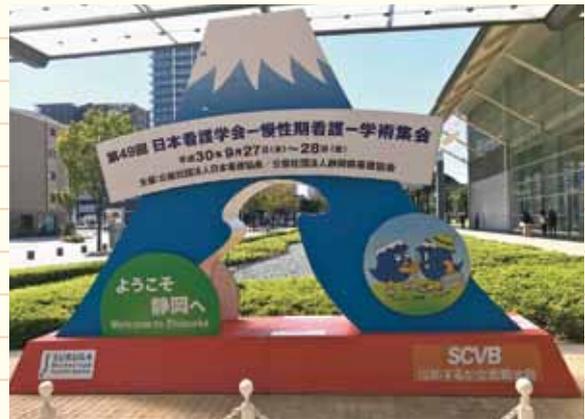
誠療会 理事
成商事 代表
成尾由美子 作

第49回 日本看護学会発表 於 静岡県 9月27日(木)・28日(金)

第49回日本看護学会（慢性期）において「自己注射の治療を受ける骨粗鬆症患者の思いと外来看護師の役割」の演題で当院の外来看護師（中元倫子）が発表いたしました。

今後は学会雑誌に投稿する予定となっております。

外来師長 柴田 沢美



第60回 全日本病院学会発表

10月6日(土)・7日(日)



2日間にわたりグランドニッコー東京台場で開催された全日本病学会で当院看護師2名(2病棟 岩村菜美、教育室師長 高瀬悦子)が発表をしました。

緊張の中訪れた会場では多くの参加者の熱気で溢れており、学会への関心の高さが伺えました。立ち見の会場もあったほどです。9つの会場を行ったり来たりし聴講しました。ホテルに帰る頃にはクタクタになりつつ、故・会長の「一生勉強」という言葉を思い返しました。本を読むだけではなく、いろんな経験を積むことが「一生勉強」に繋がっていくのだとは思っています。会長が「この研修に行って来い！」と何度も背中を押して下さったように、私も後輩たちにいろんな経験をして欲しい。そのためのサポートをがんばろう！そう思った研修でした。

教育室師長 高瀬悦子

白山健康フェスタ 於 白山小学校

11月17日(土)

「白山健康フェスタ」に参加してきました。白山小学校 PTA様、社会福祉協議会様などのご協力により実現し、当日は当院上菌幸作医師による健康相談、中野俊一栄養士により栄養相談、理学療法士らによる身体機能チェックなどを行ってきました。60名以上の地域の方々に体験して頂き、地域に貢献していく為の大きな一歩が踏み出せたと思います。また、(株)えがお様より青汁の試飲コーナーのご協賛を賜りました。

今後も、地域の皆様に愛される病院を目指すため、地域を愛した活動を継続していきたいと思っております。



健康
に

なるお教室



リハビリテーション科 活動報告

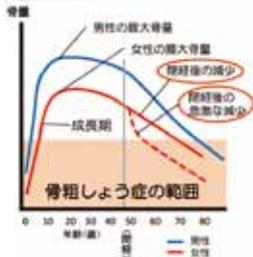
9月20日、27日に「第5回健康になるお教室」を開催致しました。当院の川上真理子薬剤師から「骨の健康を保ち、健康寿命を延ばしましょう」というテーマで骨粗鬆症の薬物治療について講演をさせて頂きました。その他、恒例となった身体機能チェックや骨粗鬆症予防体操も行わせて頂きました。今後も、様々なテーマで地域の皆様に情報が提供できるように企画していきたいと考えています。

リハビリテーション科 宮本 健太

Event

栄養科 健康教室

10月9日(火)



今回は、骨粗鬆症と栄養についてお話をさせて頂きました。参加者の皆様は熱心に聴講されていました。講演後は日頃から気になっている事等、質問されていました。さて左の表をご覧ください。骨粗鬆症とは「**高齢**」で「**女性**」に多く、何も症状がなくても十分注意が必要な病気です。乳製品は強い味方です。苦手であれば、積極的にいかがでしょうか!



管理栄養士 中野 俊一

院内レクレーション カラオケ大会

10月23日(火)

今回のカラオケ大会は入院患者様をはじめ、外来患者様にも歌声を披露していただきました。また趣味の尺八を演奏していただき、美しい音色に聞き入っていました。飛び入り参加も多く予定時間を大幅に超えましたが、最後までお付合いただきました。また、入院患者様より尺八演奏のリクエストがあり、後日退院祝い演奏会が開催されました。みなさま、とても楽しそうに過ごされていました。



第6回 熊本リレーマラソン

11月3日(土)

熊本日日新聞社主催の熊本リレーマラソンに、当院から男女21名で参加してきました。お互い励ましあい楽しく完走できました。これからもチーム力を鍛え、チーム医療に繋げて参ります。



サークル 活動報告

病院対抗ソフトボール大会

10月28日(日)

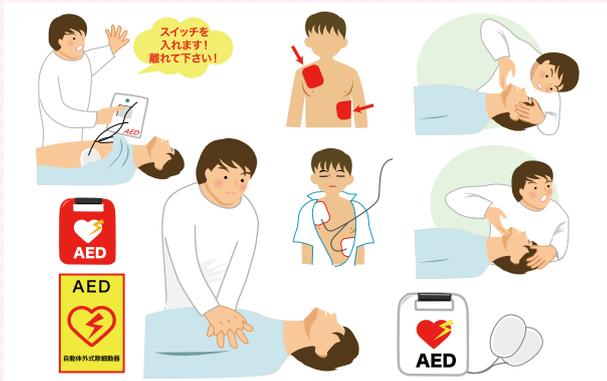


秋晴れの中、大津グラウンドにて病院対抗ソフトボール大会に参加しました。強豪チームとの対戦もあり、当院のスタッフも大健闘しました。他病院の皆様とお会いする機会となり、楽しい時間を過ごしました。

医療安全法定研修 9月20日(木)

AEDの必要性と操作方法

フクダ電子株式会社より堤内直子さんを講師にお迎えし「AEDの必要性と操作方法」についてご講演をいただき、実演では心臓マッサージの深さと速さを事務スタッフにもしっかりとご指導いただきました。AEDは私たちの身近な場所に多く設置されています。



AED 主な設置施設等一覧

- 消防・海保・防衛関係施設
- 医療施設（病院、診療所、施術所等）
- 介護・福祉施設
- 学校、保育施設（小中学校、高校、大学、各種学校等）
- 宿泊施設（ホテル、旅館等）
- 公共交通機関（駅・電車・バス・タクシー）
- 会社、事業所
- 体育・スポーツ施設
（運動場、体育館、スキー場、ゴルフ場等）
- 集合住宅（マンション、団地等）
- 公園、文教・娯楽施設
（図書館、テーマパーク、パチンコ店等）
- 自宅、自家用車
- その他の不特定多数が利用する公的施設、民間施設

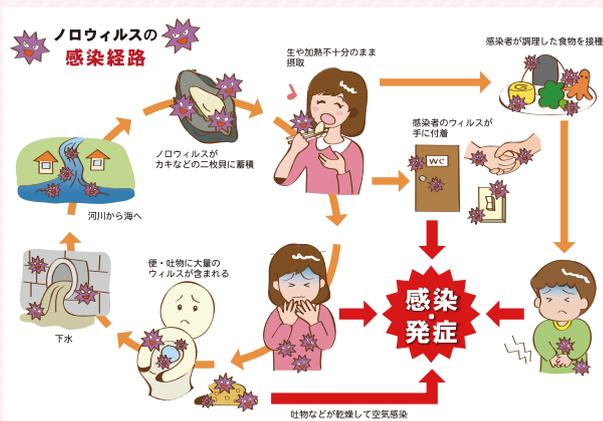
院内感染法定研修 10月26日(金)

ノロウイルス研修

当院の職員を対象としたノロウイルス研修を開催しました。院内で患者様が嘔吐したと想定し、吐物処理の手順など感染を最小限にするための知識を再確認しました。

例年 10 月から翌 3 月にかけて、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が多発しています。ノロウイルスは、主に汚染された食品を食べることにより感染します。感染した人の吐物や便の中には、多量のウイルスが含まれていますので、感染源となり二次感染を起こし、集団感染につながることもあります。

そこで、家庭内での予防対策と感染した時の対応をここにご紹介します。



家庭でのノロウイルス対応

- 子供や高齢者は特に感染しやすいので注意が必要です。
- トイレの後、料理の前、食事の前には石鹸での手洗いと、流水で十分に洗い流しましょう。
- 手洗い等では清潔なタオルを使用し、共用を避け、ペーパータオルを使用しましょう。
- カキや二枚貝は、食品の中心温度を85度以上で90秒以上加熱して食べましょう。
- 感染疑いの方は、入浴は控えるか、最後にしましょう。
- 吐物や便の後始末をする際には、マスクと使い捨てのビニール手袋を着用しましょう。
- 汚物のふき取りに使用したペーパータオルや、汚染したものは、ビニール袋に密閉して廃棄しましょう。
- トイレや便器や床など、汚物で汚染された場所は、ノロウイルスに効果があるスプレー式消毒剤やクロスで吹き上げましょう。（アルコールは効果がありません）
- 汚染された衣類は、汚物を取り除き85度の熱湯に1分以上浸した後に、ほかのものとは別に洗濯しましょう。
- 最後に十分な手洗い、うがい、着替えをしましょう。



かかりつけ

のお医者さん

「なるお」の連携病院をご紹介します。

今回は **陣内病院** さん

成尾整形外科さんと同じく白山通り沿いにあります陣内病院です。糖尿病を総合的に診療できる病院として1977年より診療しております。

整形外科の患者さんと我々が会うタイミング

陣内病院が、成尾整形外科の患者さんの治療のお手伝いをするようになるのは、「手術が決まった時」という非常に差し迫ったタイミングとなるのがほとんどです。

糖尿病はかなり進行するまで自覚症状がありません。このため、手術前の血液検査で初めて「血糖値が300を超えていますよ!」といった状態で高血糖が発覚します。

患者さんにおかれては、ようやく手術の覚悟を決めたところに、思ってもみなかった糖尿病診断で、さらに大きなショックを受けられる方、実は少なくありません。

手術を受けるにあたって、血糖が高いと、

- ・手術後の縫合部分がちゃんとならない(縫合不全)
- ・術後に感染症をおこしやすく、化膿しやすい。

といった問題が発生します。

糖尿病は、食べ物を消化した後、血液中に吸収した糖を、エネルギーとして細胞に送ることができない病です。血液中には糖があふれているにもかかわらず、細胞側はその糖を取り込んでエネルギーとして使うことができません。エネルギー不足のために、新しい細胞を作って傷を治すことができなくなるのです。

また、血糖が高くなると血液がドロドロになって細い血管の血流が悪くなるため、細菌を退治してくれる白血球が、感染局所に到着できなくなりますし、働きも悪くなることで、感染拡大を許してしまい、傷が化膿しやすい状態につながります。

さらには、感染症をおこすと炎症物質やホルモンの働きで、血糖があがりますので、なかなか治らない状態になってしまいます。

このため、「手術の前に、血糖をコントロールしましょう」ということになるわけです。

陣内病院でおこなう治療

患者さん側としては、大事な手術を控えていますから、すぐにでも血糖を下げたいところですが、糖尿病の状態や手術の内容によっては、短期間で急に血糖を下げることで、かえって進行してしまう糖尿病の合併症(網膜症)があります。

これを避けるために、まずは、成尾整形外科さんの主治医の先生と、陣内病院の糖尿病専門医の間で、患者さんの治療情報を共有します。その上で、陣内病院で、患者さんの現在の糖尿病の詳細な病態、合併症の有無とその程度をチェックします。

陣内病院では、糖尿病の三大合併症といわれる眼・腎臓・神経の検査はもとより、血管～心臓・脳・下肢の大きな血管と手足の末梢血管の状態など、全身トータルで糖尿病にかかわるリスクチェックを行う体制を整え、それぞれの領域の専門医が治療にあたっています。この精査の結果と診断をふまえて、患者さんの状態にあわせた無理のない血糖コントロールを行い、万全な状態で手術を受けていただけるようサポートさせていただいています。

健康長寿達成のために!

成尾整形外科さんの治療においても、我々の糖尿病治療においても、患者さんに、健康長寿を達成いただく上では、『運動療法』が大きな鍵です。

筋肉をしっかり動かしてしなやかに保っていただくことは、糖の代謝を良い状態に保ち、血管をしなやかに保っていただくことにつながります。骨や関節を適切な状態に保っていただくことは、内臓を適切な状態に保っていただくことにつながります。

陣内病院の患者さんも、「足腰が痛いから運動できない」と言われる方が多いのですが、そんな患者さんたちでも、できる範囲で運動を継続いただくことで、「足腰の痛みがなくなった!」「血糖もうまくコントロールできるようになった!」と言っていただけのように、今後も連携して診療を行っていきたくと考えています。



理事長・院長 陣内 秀昭



医療法人社団陣内会
陣内病院

JINNOUCHI HOSPITAL DIABETES CARE CENTER

〒862-0976 熊本市中央区九品寺6丁目2-3
TEL:096-3630011 FAX:096-364-2654

診療科目

内科・糖尿病内科・循環器内科
消化器内科・神経内科・眼科



from

栄養科



Recipe



秋のお弁当

11月は秋の弁当、12月はクリスマスメニューをお出ししました。

当院では月に数度イベント食を開催し、入院生活の楽しみとして続けています。

秋のお弁当では旬の食材にこだわり、大好評でした。

冬に温まる豆乳と鮭の味噌汁

材料 2人分
 鮭 …………… 1切れ
 ほうれん草 …… 2枚
 しめじ …………… 1/2P
 油 …………… 適量
 水 …………… 200g
 顆粒だし …… 小さじ2
 豆乳 …………… 200g
 味噌 …………… 大さじ1

作り方

①鍋に油をひき、鮭、ほうれん草、しめじを炒める。②水を加え、顆粒だしも加える。③豆乳を入れ、ひと煮立ちしたら味噌を溶き出上来り。

外来診察医一覧表

平成30年10月1日現在

	月	火	水	木	金	土				
						1週	2週	3週	4週	5週
午前	成尾政一郎		成尾政一郎		成尾政一郎					
		浦門 操	浦門 操	浦門 操		浦門 操		浦門 操		
	矢渡健一	矢渡健一		矢渡健一			矢渡健一		矢渡健一	当日 担当医
	知花尚徳		知花尚徳	知花尚徳			知花尚徳		知花尚徳	
	林田 実	林田 実			林田 実	林田 実		林田 実		
		山城和馬	山城和馬		山城和馬	山城和馬		山城和馬	山城和馬	
				森田 誠	森田 誠	森田 誠		森田 誠	森田 誠	
	上蘭幸作 (内科)									
					野上俊光 (漢方内科)		野上俊光 (漢方内科)	野上俊光 (漢方内科)		
午後	知花尚徳	知花尚徳	林田 実	知花尚徳	当日 担当医	休診	午前		午後	
	森田 誠	矢渡健一	山城和馬	田中佳代 (禁煙外来)			受付時間 ※新患	8:30~12:00	1:30~5:00	8:30~11:00
			森田 誠				診療時間	9:00~12:30	2:00~5:30	

成尾整形外科病院



〒862-0958 熊本市中央区岡田町12-24
 TEL.096-371-1188 FAX.096-366-9923
 HP <http://naruoseikei.com/> E-mail madoguchi@naruoseikei.com

敷地内全面禁煙～禁煙のお願い～

喫煙は、肺がんや咽頭がんを始めとする多くのがんや循環器疾患等を誘発します。副流煙による受動喫煙により周囲の人々にも健康被害が及びます。健康増進法第25条の趣旨を鑑み、また喫煙される患者様にとって手術中・手術後は危険な状態に陥りやすい可能性があることから当院は「病院敷地内を含め全面禁煙」としています。皆様のご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



「せいりょう」では身近な情報を掲載しています。記事に関するご要望などございましたら広報担当(渡邊)までお問合せください。次号発行は2019年春号予定です。お楽しみに!!

広報担当

野上俊光・永友利幸・内田麻衣・清島絵美・村本美里・池田 恵・澤村拓朗・岩下万恵・中野俊一
 佐藤佳奈・磯道正徳・片桐晶子・高光稔侍・山口 薫・川中洋平・和田翔一・前田優佳・渡邊江身子